

## コラム①：菌核病の防除対策について

菌核病は12～3月にかけて多く発生します。初期被害を最小限に食い止めるため防除を徹底しましょう。

### 1 発生生態および被害

- (1) 多湿及び窒素過多は発病を助長する。
- (2) 病原菌は多犯性でキャベツ、ジャガイモ、さやいんげん、ピーマン等多くの作物を侵し、連作により多発する。
- (3) 密植や茎葉の繁茂時に発生しやすい。



さやいんげんの発病果



さやいんげんの地際部に生じた菌核



キャベツの発病株



ナスの発病果

### 2 防除上注意すべき事項

- (1) 発病部位は、菌核が形成される前に早めに除去し、ビニール袋に入れるなどしてほ場外へ持ち出し処分する。
- (2) 多湿条件で発生しやすいので、老葉病葉は取り除き透光通風を良くする。
- (3) 植替えを行う場合は、地際部の菌核を残さないよう土壌ごとほ場外へ持ち出し処分する。
- (4) 例年発生時期に当たるので、薬剤による防除を徹底する。